

平成29年2月期決算説明資料

- 18期の総括
- 19期の課題
- 補足資料

平成29年4月17日



株式会社 買取王国

第18期の総括

売上高については、既存店の売上は主力商材のファッション部門や新たに力を入れ始めた家電、工具が好調のため、堅調に推移しておりますが、業績不振店舗のスクラップの結果、売上高が前年同期を大幅に下回りました。利益面については、経費の削減に積極的に取組んだものの、新店舗管理システムの導入・運用費用の発生や、積極的なスクラップに伴う撤退費用や新規出店費用の発生により、販売費及び一般管理費が収益減少相応に削減できず、前年同期を下回ることとなりました。加えて収益性の低下した一部店舗について、減損損失を計上いたしました。

以上の結果、当事業年度の売上高は4,910百万円（前年同期比13.8%減）、営業利益は23百万円（前年同期比87.2%減）、経常利益は32百万円（前年同期比83.6%減）、当期純利益は12百万円（前年同期比83.3%減）となりました。

第19期の課題

① 商品政策

取扱商品については、優先順位を決め、攻める・守る・育てるものを明確にします。売上構成比の高いファッション、ホビーを攻めるものとして力を入れ、ブランド、トレカ、アウトレット衣料を徹底して守り、女性ファッション、工具、家電、生活雑貨を育てていきます。また、買取仕入の精度向上、仕入強化のプロモーション及び店頭商品の鮮度管理の徹底を図ってまいります。

② 店舗政策

前々事業年度からの取組みにより既存店の業績は、回復してきているものの、店舗間に格差があります。それらの店舗につきましてはプロジェクトチームをつくり、収益モデル店舗の標準化を実行してまいります。新店については、営業本部内に出店検討委員会を設け、店舗の売場構成等、地域特性に合わせた営業現場主導の出店を進めてまいります。

また、店舗の外観及び内装について、取扱商品に合わせて段階的に改装を進めてまいります。加えて、平成29年3月1日に、工具専門店として工具買取王国西春店（名古屋市）を、平成29年4月8日に、キングファミリー緑店跡地において女性ファッション専門店として WHY NOT 緑店（名古屋市緑区）をオープンするなど新業態の開発にも取り組んでいきます。

③ IT政策

前事業年度より導入しました店舗管理システムのデータが集積してまいりましたので、バイヤー育成、地域に合った品揃えの強化、店頭在庫管理の標準化に活用してまいります。また、顧客管理の徹底をはかり、迅速かつ正確な買取査定による査定待ち時間の短縮、適時適切にお客様にとって有用な情報の提供等、更なる顧客満足度の向上につながるように取り組んでまいります。

補足資料

1. 損益計算書概要

(単位:千円)

	第17期 自H27年3月1日 至H28年2月29日	第18期 自H28年3月1日 至H29年2月28日	増減比(%) (前年同期差異)	第19期 業績予想	増減比(%) (前年同期差異)
売上高	5,694,663	4,910,675	△13.8	4,843,855	△1.4
売上総利益	3,010,037	2,614,125	△13.2	2,635,109	△0.8
売上総利益率(%)	52.9	53.2	0.7	54.4	2.2
販管費	2,823,977	2,590,382	△8.3	2,533,102	△2.2
販管比率(%)	49.6	52.8	6.4	52.3	△0.9
営業利益	186,059	23,743	△87.2	102,007	329.6
営業利益率(%)	3.3	0.5	△85.2	2.1	335.6
経常利益	199,307	32,777	△83.6	105,938	223.2
経常利益率(%)	3.5	0.7	△80.9	2.2	227.7
当期純利益	74,996	12,532	△83.3	64,589	415.4
当期純利益率(%)	1.3	0.3	△80.6	1.3	422.5

2. 商品分類別販売実績

(単位:千円)

	第 17 期		第 18 期		増減比
	売上高	構成比	売上高	構成比	
ファッション	2,575,235	45.2	2,536,536	51.7	△1.5
ファッション(注)	2,775,752	48.8	2,536,536	51.7	△8.6
ホビー	1,300,158	22.8	985,459	20.1	△24.2
ホビー(注)	1,098,641	19.3	985,459	20.1	△10.3
GAME	298,133	5.2	205,873	4.2	△30.9
貴金属	178,084	3.1	140,347	2.9	△21.2
その他	1,343,051	23.6	1,042,457	21.2	△22.4
合計	5,694,663	100.0	4,910,675	100.0	△13.8

注:新店舗管理システムの導入を機に商品分類を見直したため、17期、ホビーに属する時計(高級ブランド品以外)が18期ではファッションに属することになりました。

3. 全店、既存店の前期比及び店舗数

			売上高（単位：％）		店舗数（単位：店）		
			全店	既存店	出店数	退店数	全店舗数
	H28年	3月	92.4%	93.3%	1	—	33
		4月	89.1%	91.6%	—	—	33
		5月	89.8%	92.1%	—	—	33
		6月	88.6%	90.2%	—	—	33
		7月	90.5%	91.0%	—	1	32
		8月	79.0%	85.8%	—	1	31
		上期計	88.2%	90.7%	1	2	31
	H29年	9月	77.4%	87.0%	—	1	30
		10月	87.6%	99.4%	1	1	30
		11月	88.6%	101.2%	—	—	30
		12月	88.3%	101.4%	—	—	30
		1月	85.3%	96.9%	—	—	30
		2月	86.9%	100.2%	—	1	29
		下期計	85.8%	97.8%	1	3	29
	H29年2月 期計		87.0%	94.2%	2	5	29

4. キャッシュ・フローの状況

（単位：千円）

	第17期 自H27年3月1日 至H28年2月29日	第18期 自H28年3月1日 至H29年2月28日
営業活動による キャッシュ・フロー	317,333	△6,506
投資活動による キャッシュ・フロー	△372,581	△78,332
財務活動による キャッシュ・フロー	△78,273	107,342
現金及び現金同等物の 期末残高	1,027,361	1,049,864

5. 販管費の状況

(単位:千円)

	H28 年 2 月期	H29 年 2 月期	前年同期比
給料及び賞与	1,141,176	1,045,356	△8.4
地代家賃	531,510	485,168	△8.7
水道光熱費	111,954	86,544	△22.7
消耗品費等	101,299	82,800	△18.3
減価償却費	75,532	132,382	75.3
広告宣伝費	112,169	51,736	△53.9
その他	750,334	750,334	△58.7
販管費合計	2,823,977	2,590,382	△8.3

以上